

令和元年9月13日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

総務文教常任委員会
委員長 原 賢 志

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

移住・定住について

2 調査目的

移住・定住を促進するため

3 調査の経過

□平成29年7月3日

今後の調査内容と進め方について、協議・検討を行った。

次回、本町の政策について、担当課より説明を受ける。

□平成29年7月24日

政策推進課長の出席を求め、町の政策について説明を受け質疑を行った。

今後、大玉村、白石市等の人口増加策について資料収集すると共に、当町の事業実績を確認していく。必要に応じて、全体での政務調査を実施する。

□平成29年10月6日

近隣市町の参考資料を基にした調査を行った。

次回、日立オートモティブシステムズ（株）進出への対応について、説明を受ける。

□平成29年11月9日

政策推進課長の出席を求め、日立オートモティブシステムズ（株）進出にともなう移住・定住推進策について説明を受けた。現段階では特別ない。

産業厚生常任委員会と大玉村等を視察することとした。

□平成30年2月19日

産業厚生常任委員会と大玉村を視察。

□平成30年2月23日

大玉村視察の総括と今後の調査について協議・検討を行った。

本町における人口減少対策として実施可能な要件について「まち・ひと・しごと創造プラン」を各自再検証し、要件を明確にして調査し、6月報告を目指す。

町内企業従業員の町内・外や年齢構成などについて、説明を求める。

□平成30年4月24日

総合政策課長の出席を求め、現況報告と経済センサスについて説明を受けた。

□平成30年5月15日

今後の調査について、協議・検討を行った。

報告書案を作成し、検討する。

□平成30年5月30日

委員会調査報告について、協議・検討を行った。

報告書（案）を提示し、次回検討。

□平成30年6月12日

6月定例会における委員会調査報告の有無について、協議・検討を行った。

長期的な効果を検証する必要がある。次回担当課の説明を受ける。

「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を各自検証し調査事項を明確にする。

□平成30年7月6日

総合政策課長の出席を求め、これまで（直近1年）の人口動向について説明を受けた。

□平成30年7月20日、平成30年8月20日

「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」からの調査事項について協議・検討を行った。

□平成30年10月30日

総合政策課長の出席を求め、日立オートモティブシステムズ(株)関連の移住等について説明を受けた。

□平成31年1月17日

今後の調査の進め方について協議・検討を行った。

□平成31年2月5日

総合政策課長の出席を求め、日立オートモティブシステムズ(株)従業員の移住状況について説明を受けた。

□平成31年2月15日

総合政策課長の出席を求め、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における今後の移住施策について説明を受けた。

□平成31年4月18日

今後の調査の進め方について協議・検討を行った。

□令和元年5月23日

総合政策課長の出席を求め、移住・定住の平成30年度における施策と実績、今後の取り組みについて説明を受けた。

□令和元年7月18日、8月20日

委員会調査報告について協議・検討を行った。

4 調査結果

当総務文教常任委員会は、移住定住施策について、近隣市町村における施策と実績について視察・調査を実施し、分析・評価を行った。当町における取組は、積極的に展開されているものの、成果についての進展度合いを常にチェックし、取組み策を強化する必要がある。更なる成果をあげるためには、リーサスを有効活用し、産業構造データや人口動態データ等を分析するなどし、施策に活かしていく必要がある。また、まちづくり推進課や産業振興課をはじめとする関係各課と連携した施策の展開、金融機関や不動産・建設業関係、地元民間企業との連携協力、スピーディーな対応も必要である。併せて、教育・福祉の更なる充実を図り、流出人口減少歯止め策に繋げ、人口の維持・増加に努め、移住定住施策の強化を図ること。